

社会に信頼されるグループであり続けるために

●「開かれた工場」へ向けた取り組み

Our Action 玉野事業場にて、工場見学ツアーを実施『J-CREWプロジェクト～やっぱり海が好き～』

全日本海員組合『J-CREWプロジェクト～やっぱり海が好き～』主催のもと、全国の造船所とタイアップした工場見学ツアーに玉野事業場も協力しています。2016年12月に初めて受け入れを行って以来、2017年度までに3回の工場見学ツアーを実施しました。2018年1月には「造船所体験特別課外授業」として地元の小学5年生約120名が参加し、船舶用ディーゼルエンジンの組立工場などを見学しました。普段見ることのできない大きなエンジンを間近で見られると好評で、今後も年1、2回の頻度で定着した行事となるよう計画しています。

Voice

参加者の声



秋田 敬宗

三井E&Sビジネスサービス
人事総務サービス部

海洋思想の普及は、島国である日本にとって急務であると言えます。この活動への協力がその一助となっているという確信は、船やエンジンを見た時の子供たちの笑顔に裏付けられています。社外に当社製品の魅力を知っていただく機会にもなっているので、定着した行事となるように継続して受け入れを行っていきます。



Our Action 千葉工場にて、地元小学生向け工場見学会を開催

毎夏、海の日に関連イベントとして、地元の小学5・6年生を対象に工場見学会を実施しています。この見学会では建造工程のDVD鑑賞、パワーポイントを使った船の役割などを予め勉強した後、学年ごとに分かれて工場見学および乗船見学を行います。3回目の開催となった2017年も夏休み中にもかかわらず、たくさんの小学生が参加してくれました。普段目にする事のない建造中の大型船や巨大クレーンなどに、子供たちはとても驚いていましたが「すごく楽しかった」という声を頂きました。今後も地元の子供たちが造船業に親しみを持ってくれるような見学会を開催していきます。

Voice

参加者の声



佐藤 百恵

三井E&S造船 千葉工場
管理部管理グループ

地域の子供たちに、私たちの会社がどのような仕事をしているのか、分かりやすくクイズ形式で説明したり、船と小学校の大きさを写真で比較したりして説明しました。子供たちの素直なリアクションに、私自身も船のすごさや大切さを再確認させてもらう良い機会となりました。



○×クイズを交えて船の勉強



Our Action 大分工場にて工場見学バスツアーを受け入れ

大分市の秋の恒例行事「大分市工業展」の一環として、一般市民向けの工場見学バスツアーの受け入れを毎年行っています。大分工場は臨海工業地帯の端に位置していることもあり、製作したコンテナクレーンを見ていただく機会が少なく、大分から世界へ出荷している当社製品を知っていただく貴重な機会となっています。

Voice

参加者の声



油布 直樹

三井E&Sマシナリー大分工場
総務部総務・勤労グループ

三井造船という旧社名から船を造っていると思い参加される方も多く、大分工場ではコンテナクレーンを製作していることを知ってもらうことが私の役目だと思いついて説明しています。私たちが誇りをもって製作した製品を市民の皆様から知っていただく、貴重な機会なので、「大きくてすごい！」などの声をたくさんいただいた時はやりがいを感じます。



●ふれあいたリオの活動支援

ヴァイオリニストの吉田恭子さん、ピアニストの白石光隆さん、チェリストの渡部玄一さんによる「ふれあいたリオ」は、クラシック音楽に触れる機会の少ない子供たちや障がいを持つ方々に、生のクラシック音楽に触れてもらい心豊かな生活を送ってほしいとの願いから、2003年に活動をスタートしました。2017年度は8都市・区を訪問。これまでに462公演、約10万6千人の方々に音楽を届けてきました(2018年3月末時点)。当社グループは、2003年の活動スタート時から協賛だけではなく、コンサート会場でのボランティア活動も行っています。



2018年1月 東京公演/台東区東京文化会館

●三井広報委員会の活動

当社は、三井グループ24社で構成される三井広報委員会の会員会社として、様々な社会貢献活動を支援しています。三井広報委員会は、「人の三井」という、三井グループの特色をベースに「人を大切に、多様な個性と価値を尊重することで社会を豊かにする」ことを目的に、様々な文化・芸術活動を行っています。

三井ゴールデン・クラブ賞

プロ野球においてシーズンを通し守備に卓越した選手を表彰します。

三井ゴールデン・クラブ野球教室

「三井ゴールデン・クラブ賞」を受賞した元プロ野球選手講師による少年野球指導者のための守備に特化した野球教室です。

三井ゴールデン匠賞

「伝統メイノベーション」の担い手に注目と称賛が集まる機会を創りたいという想いから2015年に創設されました。



第46回三井ゴールデン・クラブ賞受賞選手



2018年3月 第2回「三井ゴールデン匠賞」受賞者と審査員

Social Contributions | 社会への取り組み

●グループ会社各社の取り組み

昭和飛行機グループ 企業主導型保育園「スマイルキッズ昭和の森」開園

昭和飛行機グループの昭和の森エリアサービス(株)は、2018年4月、昭島駅北口ビルに企業主導型保育園「スマイルキッズ昭和の森」を開園しました。定員は30名で、生後7か月～2歳の園児を受け入れます。「企業枠」、「地域枠」の2つの枠を設けることで、従業員のワークライフバランス・子育て支援のみならず、地域の待機児童解消にも貢献します。



ドービー建設工業 登別市から感謝状授与

ドービー建設工業(株)幌別工場が約20年にわたって取り組んでいる地元小学3年生の社会科見学の受け入れに対し、市教育委員会から感謝状が授与されました。2017年度は5校、延べ240名が来訪。身近な地元産業としてコンクリート製品の製造工程や材料などを説明し、質問コーナーで児童との交流を深めています。



Burmeister & Wain Scandinavian Contractor A/S

「コペンハーゲン桜祭り」への協賛

BWSCは毎年4月末に人魚姫像近くの公園で開催される「コペンハーゲン桜祭り」に協賛しています。このイベントは2005年にデンマークの有名な童話作家であるH.C. アンデルセンの生誕200年を記念して、広島県のアンデルセングループが桜の木200本をコペンハーゲン市に寄贈したことをきっかけに、2008年から開催されています。イベントでは盆踊り、茶道や日本の武道、また漫画や音楽といったあらゆる日本の文化を楽しむことができ、2日間で約3万人を集めるコペンハーゲンの一大イベントに成長しています。



チャリティーコンサート「A Musical Café」への協賛

BWSCは2017年6月11日にデンマークで開催されたチャリティーコンサート「A Musical Café」に協賛しました。このコンサートはコペンハーゲンフィルでセカンドヴァイオリン首席奏者を務める安井優子さんが東日本大震災の被災地支援のために毎年開催しています。2017年はコペンハーゲンフィルの常任指揮者上岡敏之さんによるピアノ演奏やメンバーが賛助出演しました。収益金328,153円は「未来の福島子ども基金」に寄付されました。



コペンハーゲンフィルの上岡敏之さん(左から3番目)、安井優子さん(左から2番目)と演奏者の皆さん

Topics 「幕張新都心クリーンの日」一斉清掃活動に参加

毎年春と秋に実施される「幕張新都心クリーンの日」一斉清掃活動(幕張新都心まちづくり協議会主催)に、幕張地区に拠点がある三井E&Sグループ会社からボランティアを募っており、2017年度は三井E&Sエンジニアリング、三井E&Sプラントエンジニアリング、MESファシリティーズから参加しました。年々ごみが減っており、活動の成果を実感しています。



●100周年の取り組み

Our Action 創立100周年を地域の皆様とともに

2017年11月14日、創立100周年を迎えた感謝の気持ちを込めてメッセージ広告を掲出しました。また、当社ホームページに100周年記念ページを開設し、100年の歩みを紹介するムービーを公開しました。各地域では近隣の方を招いた記念式典や労使共催イベントなど様々な記念行事を開催しました。



玉野事業場大運動会で850人を超える参加者が作った100周年ロゴマークの人文字



玉野事業場のサマーフェスティバル



100周年記念メッセージムービー



100周年記念新聞広告

●新社名のPR活動

Our Action 新社名の認知拡大のため、積極的なPR活動を展開

●明治神宮野球場への新社名看板掲出



●広告展開(新聞広告、ラジオCMなど)



●コーポレートサイトのリニューアル



●社名の由来

「E&S」は三井造船のルーツであるEngineering & Shipbuildingの頭文字を由来としていますが、その二つに留まらない幅広い意味があります。「E」には、今後注力する事業領域の一つであるEnvironment・Energy(環境・エネルギー)などを。また、「S」は同じく注力する事業領域であるSocial Infrastructure(社会・産業インフラ)、Solution(課題解決)、Systems、Serviceなどを表す幅広い意味を持っています。培ってきた二つの力、Engineering & Shipbuildingを原点に、そこに留まらない、より広く、多彩なソリューションを展開していく企業姿勢を「E&S」に込めました。

●ロゴマークのコンセプト

【新ロゴマーク「M on the Earth」】

「M」の下のブルーが表しているのは、地球の地平線であり水平線。三井E&Sグループのこれからの事業フィールドの広がりを意味しています。そしてその上に、未来に向かう確かな成長力と存在感を感じさせる、力強い黒字の「M」が置かれています。更に青いラインと「M」の間には、向き合う「2つの矢印」が隠されており、グループの多彩な技術や人材を結集して、地球に新しい価値をつくりだしていく意思を表現しています。

三井E&Sホールディングス